

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-20	小学校	社会科	社会	第4学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	社会 403	小学社会 4		

1. 編修の基本方針と特色

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（第二条の第1～5号）」と、学習指導要領に示された「教科目標」を達成し、社会科のねらいである「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力の基礎を育成する」ことを目指して、以下の方針に基づいて編修しています。

目指す
社会像

◆持続可能な社会

人間が尊重される平和な社会／公正で公平な社会／多様性を尊重する社会／将来世代に配慮する社会／生態系に配慮する社会

目指す
子ども像

◆知識基盤社会において必要な幅広い知識と柔軟な思考力をもち、自ら問題を解決しながら、よりよく生きていこうとする子ども。

教科書
の特色

◆地域と国土のすがた、社会を成り立たせているしくみとその来歴を、そこに生きる人たちに共感しながら、確かにとらえることのできる教科書。

◆問題の解決に向けた主体的な追究や学び合いに効果的に活用することのできる教科書。

特色1. 問題解決的な学習の進め方が身につく教科書

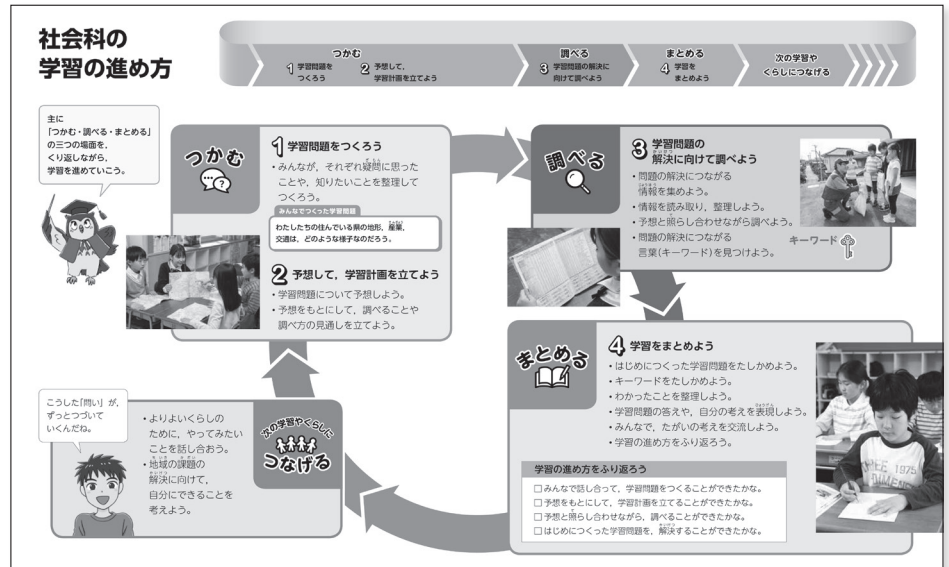
特色2. 知識や技能の確かな習得のもとに思考力・判断力・表現力を育む教科書

特色3. 公民的資質の基礎を培い社会参画への意欲を高める教科書

特色 1. 問題解決的な学習の進め方が身につく教科書

▶社会科の学習の進め方 (p.4)

各学年の巻頭に、問題解決的な学習のわかりやすい見取り図を示しました。そして、追究の帰結は、次の学習へとつなげるだけでなく、地域や社会にみられる課題の解決に生かしていくことを示唆しています。



- 身近な社会的事象との関わりの中から子どもたちが自ら問題を見だし、その解決に向けて考え合い、表現し合いながら主体的に追究していくことができる構成・展開にしています。
- 子どもが意欲を高めながら学習問題を追究していけるように、魅力的で価値のある導入教材を掲載しました。
- 追究の過程で子どもたちを適切に支援する技能や知識、設問などを配置し、より豊かで確実な学習成果に結びつけられるようにしました。

特色 2. 知識や技能の確かな習得のもとに思考力・判断力・表現力を育む教科書

- 問題解決に向けた追究を進めていくうえで必要となる基礎的・基本的な知識や技能を明確にし、子ども自身がそれらを確認め、整理しながら身につけていけるようにしました。
- 必要な情報を集めたり、的確に読み取り解釈したり、効果的に表現したりする技能を、ステップ・アップを考慮しながらわかりやすく説明しています。
- 多様な表現活動を通して学んだことを共有化しながら、さらに思考を深めることができるようにしています。

特色 3. 公民的資質の基礎を培い社会参画への意欲を高める教科書

- 文化財や文化遺産、先人の活躍に関わる内容を豊富に掲載し、それらを手がかりにして日本とその文化に対する理解を深め、愛情を育むことができるようにしました。
- 暮らしの改善や伝統的な文化の継承、持続可能な社会に向けて児童なりに選択・判断したり、地域や社会の「これからの発展」について考え合ったりする活動を通して、社会の変化に向き合い、主体的に参画していく力を育成します。
- 社会の成り立ちや人々の努力について理解を深め、「持続可能な社会」の実現に向けて考え、行動していくうえでの基礎を培うことができるようにしました。

2. 教育基本法との対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容		特に意を用いた点	該当箇所
全体		<ul style="list-style-type: none"> 学習の問題をつくり見通しを立てる場面を丁寧に例示し、問題解決的な学習の進め方に対する理解を深めて自ら取り組むことができるようにしました。〈第1号〉 	p.12-13, p.30-31, p.54-55, p.84-85, p.100-101, p.118-119, p.124-125, p.134-135, p.164-165, p.178-179, p.190-191, p.200-201
巻頭：前の学年をふり返ろう 社会科の見方や考え方 他の教科とのかかわり 社会科の学習の進め方		<ul style="list-style-type: none"> 第4学年の社会科への接続という観点から第3学年の代表的な学習場面を想起させるコーナーを設け、両学年の接続がスムーズに図れるようにしました。〈第1号〉 「社会的な見方・考え方」を、子どもの問いや発言のかたちで例示したコーナーを設け、社会的な見方・考え方を使った学習を意識して進めることができるようにしました。〈第1号〉 社会科と他教科の連携を図りながら学習を進めていくイメージをもつことのできるコーナーを設け、カリキュラムマネジメントに基づいた学習への活用を図ることができるようにしました。〈第1号〉 	p.2-3 p.2-3 p.2-3
知りたくな、 47都道府県		<ul style="list-style-type: none"> 貴重な自然景観や各地の特産物の写真を取り上げ、地図帳の活用を通して、日本の豊かな自然環境に児童の目が向くようにしました。〈第4号〉 各地の伝統行事や歴史的な建造物などの写真を取り上げ、地図帳の活用を通して、日本の伝統や文化を尊重する態度を養うことができるようにしました。〈第5号〉 	p.6-7, 8-9 p.8-9
1 県の地図を広げて		<ul style="list-style-type: none"> 児童らの住んでいる県の自然条件や土地利用、農産物の産地に注目する学習場面を設けて、自然や環境に対する関心や愛着を高められるようにしました。〈第2号〉 児童らの住んでいる県の主な産業を学習するページでは、働く人の姿を写真で取り上げ、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしました。〈第2号〉 学習をまとめる場面では、県内の地形や産物、交通の広がりなどを一枚の地図に整理し、児童らの住んでいる県に対する関心や愛着を高めることができるようにしました。〈第5号〉 	p.14-15, p.16-17 p.18-19 p.24-25

図書の構成・内容		特に意を用いた点	該当箇所
2 健康なぐらうとまじりへり	1 ごみはどこへ	<ul style="list-style-type: none"> 学校や家庭で出るごみの種類や量、使う水の用途や量について調べる活動を通して、児童らが自身の生活を見つめ直し、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようになりました。〈第3号〉 ごみの処理に関わる人々や、水道施設で働く人々の話から、ごみの処理や水道の供給を安定的に行うための工夫や努力について知り、勤労を重んずる態度を養うことができるようになりました。〈第2号〉 ごみや水に関わる問題について、今後も児童が考え続けていくことができるような学習活動や話し合いの場面を設定し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようになりました。〈第3号〉 	p.26-27, p.28-29 p.26-47, p.52-69 p.48-49, p.72-73
	2 水はどこから	<ul style="list-style-type: none"> 児童らが出したごみや使った水は、リサイクルや水の循環によって再び自分のもとに戻ってくるということを学習に位置づけ、健やかな身体を養うために必要な道徳的感性を育むことができるようになりました。〈第1号〉 児童らが興味や関心に応じて活用する「ひろげる」コーナーを設け、多様な事実から循環型社会の構築に向けた取り組みを知ることのできる読み物資料を掲載し、知識を広げたり理解を深めたりすることができるようにしました。〈第1号〉 清掃工場や最終処分場でのごみの処理、下水の処理が、環境負荷を与えないように行われていることを紹介し、環境の保全に寄与する態度を養うことができるようになりました。〈第4号〉 	p.38-39, p.44-45, p.46-47 p.50-51 p.34-35, p.36-37, p.66-67
3 まちづくり 自然災害にそなえる	地震にそなえるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 災害からの身の安全を、より確実なものにするための取り組みを取り上げ、児童が災害への備えについて、より主体的に考えていくことができるようになりました。〈第3号〉 学習を通して、災害への備えについて大切だと思ったことを標語に表し、他者へ伝える活動を通して、主体的に社会の形成に参画する態度が養えるようにしました。〈第3号〉 	p.96-97 p.98-99
	〈選択〉 水害にそなえるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 災害に備える取り組みについて、様々な立場の人々がそれぞれにできる備えを進めていることを紹介し、こうした取り組みを参考に児童らが自主及び自律的に備えを進めることができるようにしました。〈第2号〉 	p.84-99, p.100-111
4 きたもの 地域で受けつがれて		<ul style="list-style-type: none"> 長い時間をかけて、阿波踊りが大切に受けつがれてきたことがわかるよう、草創期の踊りの様子を描いた絵画や、昔の様子をとらえた写真などを年表とともに取り上げ、伝統と文化を尊重する態度が養われるようにしました。〈第5号〉 阿波踊りを実際に踊ったり、阿波人形浄瑠璃の人形を動かしたりする体験を通して、児童が伝統と文化を尊重する感性を育み、地域の文化財や年中行事に主体的に関わっていくという態度を養うことができるようになりました。〈第5号〉 	p.116-123 p.120-121, p.126-127
5 まちづくり 昔から今へと続く		<ul style="list-style-type: none"> 新田開発と用水路開削の事業を完遂した井沢弥惣兵衛が行った様々な工夫や努力、人々との協力の事実を通して、児童が責任感や自他の敬愛、協力を重んずる態度を養うことができるようになりました。〈第3号〉 工事を行ったり、事業を完遂したりした井沢弥惣兵衛の心情を想像する活動を通して、児童の情操面を養うことができるようになりました。〈第1号〉 現在も見沼新田、見沼代用水を、地域の人々が大切に守っている様子を紹介し、児童が郷土愛を育むことができるようになりました。〈第5号〉 	p.132-151 p.142-143, p.152-153 p.150-151

図書の構成・内容		特に意を用いた点	該当箇所
6 わたしたちの県のまちづくり	1 焼き物を生かしたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の発展を願って、様々な人々が自分のできることに取り組んでいる姿を取り上げ、児童らが主体的に社会に参画し、その発展に寄与する態度を養ったり、また、郷土を愛する気持ちを養ったりすることができるようにしました。〈第5号〉 	p.164-171, p.178-187, p.190-197
	2 昔のよさを未来に伝えるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 焼き物づくりの工夫や、かま元の思いやこだわりなどを知り、児童らが勤労を重んずる態度を養うことができるようにしました。〈第2号〉 	p.164-171
	〈選択〉 自然を生かしたまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> アカウミガメが産卵しやすい環境を整備する地域の人々の取り組みを通して、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。〈第4号〉 	p.190-197
	3 国際交流がさかんなまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 行政やNPOが主催する交流事業や個人間の交流など、様々な国際交流の様子を取り上げ、自国、他国両方の伝統や文化を尊重し、他国を尊重する態度を養うことができるようにしました。〈第5号〉 	p.200-209
	巻末：4年生の学習をふり返ろう	<ul style="list-style-type: none"> 第4学年の1年間を通して学んだこと、学習技能、「社会的な見方・考え方」などをふり返るコーナーを設けて、学習した内容や学習に用いた視点を確かめながら、自ら主体的に学習に取り組んでいくための方法を身につけるとともに態度が養われるようにしました。〈第1号〉 	p.212-213

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

本教科書は、教育基本法に示された義務教育の目的や、学校教育法に示された目標などを達成するために、特に以下の点に意を用いて編修しています。

◇ユニバーサルデザイン（UD）による多様性への配慮

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

◇パラリンアート

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、各学年の巻頭（もくじ）では、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

◇地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。また、印刷には再生可能エネルギーであるグリーン電力を使用し、地球環境への負荷の軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-20	小学校	社会科	社会	第4学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	社会 403	小学社会 4		

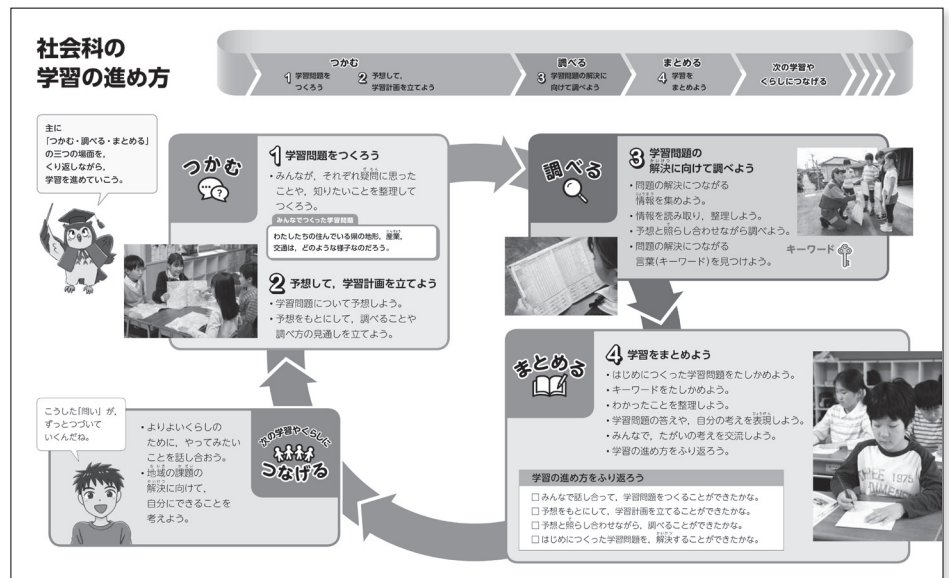
1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 問題解決的な学習に関わる特色

① 問題解決的な学習の進め方をわかりやすく例示

各学年の巻頭に、問題解決的な学習のわかりやすい見取り図を示しました。見通しをもって主体的に学習を進めていけるようにしています。

また、追究の帰結は、次の学習へとつなげるだけでなく、地域や社会にみられる課題の解決に生かしていくものであることも示唆しました。



▲p.4-5

② 一貫した追究を支える「問い」

単元を通して追究していく問いを「みんなでつくった学習問題」として明示しました。

学習問題の解決に向けた各単位時間の中心となる問いは、「この時間の問い」として明示しています。

みんなでつくった学習問題

わたしたちのくらしから出たごみは、どのようにして集められ、処理されるのだろう。

▲p.31

?この時間の問い

もやしたごみの灰は、
どのようにして
しより
処理されるのだろう。

▲p.36

③ 学習問題をつくり、追究の見通しを立てる場面をていねいに例示

「社会的な事象と出会う→気づきや疑問を交流して学習問題をつくる→予想をする→調べること・調べ方の見通しを立てる」という一連の流れを、どの単元でもていねいに例示しています。

児童から引き出したい発言は、会話文で例示しています。例示に際しては、第4学年の発達段階を考慮した児童の思考の自然な流れを重視しています。

みんなで作った学習問題
わたしたちのくらしから出たごみは、どのようにして集められ、処理されるのだろう。

学習問題について予想したあとで、調べることと調べ方をノートに書きました。

収集に出したごみのゆくえを追っていき、処理のしかたについて、なにかわかるのではないかな。

ごみを分別して収集に出すのは、収集したあとの処理のしかたがごみの種類によってちがうからではないかな。

ひろとさんのノート

調べること	調べ方
・ごみを収集の様子	→ 収集の様子を観察する。
・ごみを分別したり、収集に出すときにきまりがあったりするわけ	→ 分別の処理にかかわる仕事をしている人から話をさく。
・ごみを処理するしせつの役割と、処理のしかた	→ 分別を処理するしせつを訪問して、処理のしかたを見学する。

▲p.31

④ 問いをつなげて思考の深まりを促す「次につなげよう」

各見開きの末尾に「次につなげよう」を置いています。各時間の学習が、次の時間の中心となる問いに自然につながるようにしています。単元を通じた追究の連続や思考の深まりを促します。

次につなげよう

ごみをもやしたり、うめたりして処理する以外に、どんな処理のしかたがあるのかな。

▶p.37

⑤ 追究の過程を、わかりやすく、ていねいに支援

問題を解決していくうえで必要な学習技能を「学びのてびき」として適宜、紹介しています。技能の活用を通して、「社会的な見方・考え方」を使った学習の意識化が図られるようにしています。

また、ポイントとなることばや概念を、「キーワード」として明示して、追究を促します。

キーワード

●ごみの分別

かいつ ごみを種類ごとに分けて収集に出すこと。

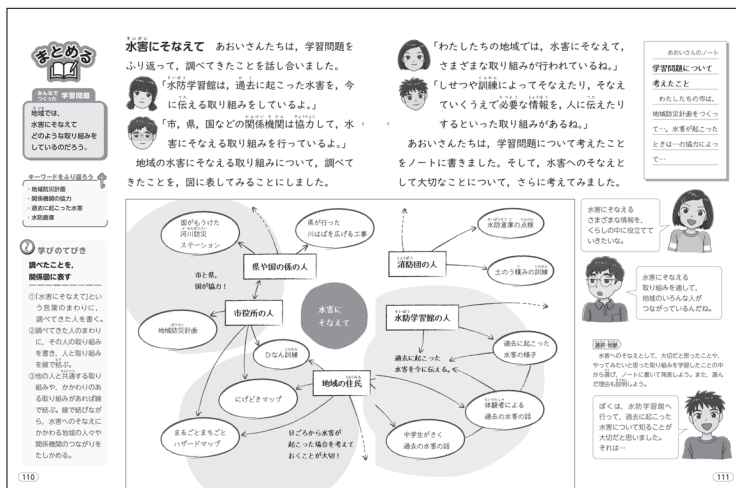
▲p.29

学びのてびき

調べたことを、関係図に表す

- ①「水害にそなえて」という言葉のまわりに、調べてきた人を書く。
- ②調べてきた人のまわりに、その人の取り組みを書き、人と取り組みを線で結ぶ。
- ③他の人と共通する取り組みや、かかわりのある取り組みがあれば線で結ぶ。線で結びながら、水害へのそなえにかかわる地域の人々や関係機関のつながりをたしかめる。

▶p.110



▲p.110

⑥ 追究の帰結をしっかりと確かめる

小単元の末尾には「まとめる」を位置づけました。学習問題やキーワードを再掲して、学習を振り返ることができるようにしています。

調べてきたことを関係図などに整理し、それを見ながら対話的な学習を行うことを通じて再構成や定着が図られ、深い学びにつながるようにしています。

2 各単元の特徴

◇ 巻頭

- **前の学年をふり返ろう** 第3学年の社会科で学習した内容や技能、方法をふり返り、第4学年の学習に生かしていくことを促します。(p.2)
- **社会科の見方や考え方** 社会的な見方・考え方を、子どもの問いや発言のかたちで例示したコーナーを設け、社会的な見方・考え方をを使った学習を意識して進められるようにしました。(p.3)
- **他の教科とのかかわり** 社会科と他教科との連携を図りながら学習を進めていくことをイメージするコーナーを設け、カリキュラムマネジメントに基づいた学習への活用を図ることができるようになりました。(p.3)
- **社会科の学習の進め方** 問題解決的な学習の進め方を示した見取り図を掲載しました。(p.4-5)



○広げてみよう、市から県へ

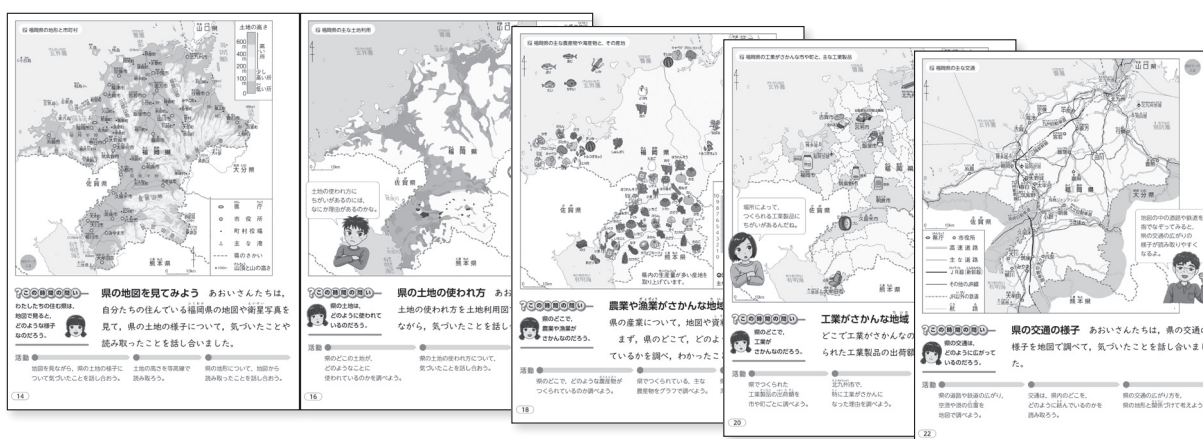
- **第3学年との接続を考慮した構成** 第3学年の市の学習をふり返りながら視野を広げて第4学年の県の学習へとスムーズに接続できるように構成にしました。(p.6-7)

○みりょくがいっぱい！ 知りたいな、47都道府県

- **児童の意欲や関心を高めて主体的な学習を促す活動を例示** 47都道府県の名称と位置を、楽しみながら習得していくことができるように、地図帳を活用しながらクイズをつくらたり答えたりする学習活動を例示しました。短時間学習などとして行うこともできる学習活動です。(p.8-11)

1. 県の地図を広げて

- **社会的な見方・考え方の活用を促す折込の工夫** 県の地形と市町村の位置を表した折り込みを開いておくと、次ページ以降の土地利用、産業の分布、交通の広がりを表した各地図と比較・関連づけをしながら読み取ることができるようにしています。(p.14-22)



▲県の地形と市町村の位置

▲土地利用

▲農業生産の分布

▲工業生産の分布

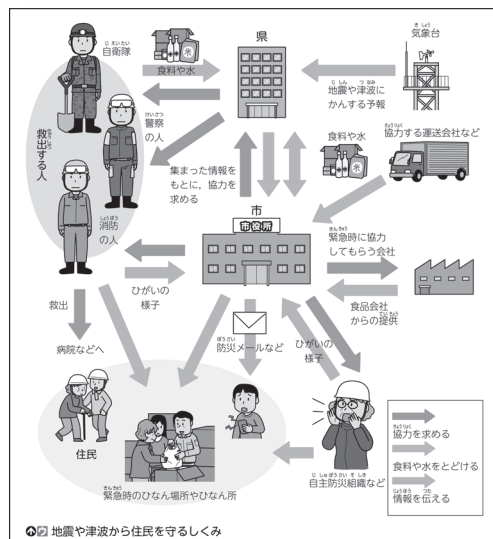
▲交通の広がり

2. 健康なくらしとまちづくり

- **今日の社会的な課題へと視野を広げる資料を掲載** 水道の供給について学習したことを踏まえて、人口減少社会のもとでの社会的基盤の維持・管理という今日的な社会の課題へと視野を広げて考えることのできる資料を掲載しました。(p.73)
- **暮らしの改善に向けた選択・判断** 廃棄物の処理・水道の供給のどちらの学習においても、廃棄物の減量や節水などの暮らしの改善に向けて、児童なりに選択したり判断したりする活動を、学習をまとめる場面に位置づけて、社会参画への関心や意欲を高めることを促します。(p.49, 71)

3. 自然災害にそなえるまちづくり

- **地震災害・津波災害、風水害を主として例示** 学習指導要領に示された選択肢の中から、地震災害と津波災害を関連づけて一つのまとまりとして詳しく取り上げたほか、それと同じボリュームで風水害の事例を取り上げ、選んで活用することができるようにしました。火山災害と雪害についても、学習活動の大まかな流れや主となる教材の例などをそれぞれ示して、地域の実状に応じて活用することができるようにしました。(地震災害・津波災害p.84-, 風水害p.100-, 火山災害p.112-, 雪害p.114-)
- **災害への備えのあり方を選択・判断** 防災や減災の取り組みについて、児童なりに選択したり判断したりする活動を、学習をまとめる場面に位置づけて、社会参画に向けて関心や意欲を高めることを促します。(p.99, p.111)



▲地震や津波から住民を守るしくみ (p.87)

4. 地域で受けつがれてきたもの

- **体験的な学習を重視した文化財・年中行事の学習** 伝統的な文化の保存や継承に向けた人々の取り組みを調べる過程で、児童が文化を体験したり、地域の関係者と交流したりしながら学習することを重視しました。(p.116-131)
- **継承に向けた取り組みを選択・判断** 児童なりに選択したり判断したりする活動を、学習をまとめる場面に位置づけて、社会参画に向けて関心や意欲を高めることを促します。(p.131)

5. 昔から今へと続くまちづくり

- **開発を主として例示** 学習指導要領に示された選択肢の中から、開発（用水開発）を詳しく取り上げたほか、教育、医療、文化、産業についても、学習活動の大まかな流れや主となる教材の例などをそれぞれ示し、地域の実状に応じて選んで活用することができるようにしました。(開発p.132-, 教育p.154-, 医療p.156-, 文化p.158-, 産業p.160-)

6. わたしたちの県のまちづくり

- **地域の振興に向けた参画と協力を重視** 地域の資源を保護・活用している地域については、学習指導要領に示された選択肢の中から、伝統文化と自然環境の事例を同じボリュームで取り上げ、選んで活用することができるようにしました。どちらの内容も、地域の振興がさまざまな人たちの参画と協力のもとに取り組まれていることを、それらの人たちに注目しながら学習を進めていきます。(伝統文化p.178-,

自然環境p.190-)

- **国旗とその尊重** 国際交流に取り組んでいる地域の学習では、身近な場所で暮らしている外国籍の人たちとの交流・共生を重視した内容にしました。国旗とその尊重についても、ここで学習します。(p.200-209, 国旗はp.205)

◇ **巻末**

- **4年生の学習をふり返ろう** 学習内容や学習過程、「社会的な見方・考え方」についてふり返る特設ページを設けました。(p.212-213)

2. 対照表

教科書（第4学年）の単元構成	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
広げてみよう，市から県へ	(1) ア (ア)	p.6-7	1
みりょくがいっぱい！ 知りたいな，47都道府県	(1) ア (ア)，ア (イ)	p.8-11	2
1 県の地図を広げて	(1) ア (ア)，ア (イ)，イ (ア)	p.12-25	7
2 健康なくらしとまちづくり 1 ごみはどこへ 2 水はどこから 2 ぐらしと電気 (せんたく) ガスはどこから (せんたく)	(2) ア (イ)，ア (ウ)，イ (イ) ア (ア)，ア (ウ)，イ (ア) ア (ア)，ア (ウ)，イ (ア) ア (ア)，ア (ウ)，イ (ア)	p.26-49 p.52-73 p.74-79 p.80-81	29 ⑮ ⑭ － －
3 自然災害にそなえるまちづくり 地震にそなえるまちづくり 水害にそなえるまちづくり (せんたく) 火山の噴火にそなえて (せんたく) 雪の災害にそなえて (せんたく)	(3) ア (ア)，ア (イ)，イ (ア) ア (ア)，ア (イ)，イ (ア) ア (ア)，ア (イ)，イ (ア) ア (ア)，ア (イ)，イ (ア)	p.82-99 p.100-111 p.112-113 p.114-115	10 ⑩ － － －
4 地域で受けつがれてきたもの	(4) ア (ア)，ア (ウ)，イ (ア)	p.116-131	10
5 昔から今へと続くまちづくり 地域に学校をひらく (せんたく) 地域の人々を病気から救う (せんたく) 沖縄の文化のよさを伝える (せんたく) 北海道で，いねを実らせる (せんたく)	(4) ア (イ)，ア (ウ)，イ (イ) (4) ア (イ)，ア (ウ)，イ (イ) (4) ア (イ)，ア (ウ)，イ (イ) (4) ア (イ)，ア (ウ)，イ (イ) (4) ア (イ)，ア (ウ)，イ (イ)	p.132-153 p.154-155 p.156-157 p.158-159 p.160-161	13 － － － －
6 わたしたちの県のまちづくり 1 焼き物を生かしたまちづくり 2 昔のよさを未来に伝えるまちづくり 2 自然を生かしたまちづくり (せんたく) 3 国際交流がさかんなまちづくり	(5) ア (ア)，ア (イ)，イ (ア) ア (ア)，ア (イ)，イ (ア) ア (ア)，ア (イ)，イ (ア) ア (ア)，ア (イ)，イ (ア)	p.162-173 p.178-189 p.190-199 p.200-211	18 ⑥ ⑥ － ⑥
		計	90